

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-5-6 造船会館4F  
TEL 03-3230-0465 FAX 03-3239-1553  
E-mail : stu@stu.ituc-rengo.jp  
発行人 数村 滋

## 全国8地連の新体制が始動！



中四国地連



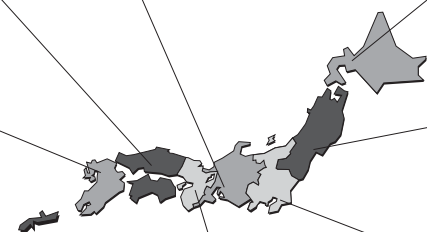
中部地連



北海道地連



九州地連



東北地連



沖縄地連



関西地連



関東地連

### ～組織拡大と加盟組合支援を柱に2期目がスタート！～

7月23～24日に開催された本部大会を受け、全国8つの地方連合会（略称：地連）も8月27日の関西地連を皮切りに、9月11日の沖縄地連まで相次いで開催され、新しい体制のスタートを切りました。サービス連合が結成されて1期2年が経過し、どちらかといえば新組織の融和に力を入れてきましたが、2期目に突入した今年度は、攻めの活動を展開し、組織拡大と組織強化を図ります。全国8地連も加盟組合の窓口として、地域に根ざした様々な活動を展開します。

#### 各地連の担当地域と登録組合員数

地連名	管轄都道府県	登録組合員数
北海道地連	北海道全域	1,302名
東北地連	青森・岩手・秋田・山形・宮城・福島	753名
関東地連	群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡(伊豆半島以東)	16,728名
中部地連	静岡(沼津市以西)・長野・愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井	3,682名
関西地連	滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫	8,179名
中四国地連	鳥取・島根・岡山・広島・山口・香川・徳島・高知・愛媛	1,761名
九州地連	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	1,852名
沖縄地連	沖縄	522名

## ボトムアップの運営を目指す

～関西地連大会 2003. 8. 27 都ホテル大阪～

去る8月27日の水曜日、3回目を迎える関西地連の定期大会を都ホテル大阪において開催しました。今回は3部構成に分けて、10時半から19時半までというこれまでに無い長時間に及ぶ大会となりました。

第1部ではまず関西地連を代表して寺田議長の挨拶に始まり、続いて本部宮坂副会長、連合大阪服部副事務局長、無料法律相談でお世話になっている上坂弁護士と3名のご来賓から激励の挨拶を頂戴しました。その後、昼食休憩を挟んでこれまでの運動のまとめや来期に向けての方針、会計の決算と予算について提案・審議を行いました。大会の間では代議員からの発言も無く、少々物足りなさを感じましたが、最後に役員改選を行い第1部は無事終了しました。

第2部では専門部のせいさく部より「USJ 検証チーム」、「外国人バリアフリーチーム」、ノーマライゼーション委員会から「ふれあいチーム（ふれあいキャンプINひるぜん）」、「検証チーム（盲導犬・介助犬の実地研修）」の活動報告を兼ねたコンテストを開催しました。コンテストという事もあってどのチームも大変熱のこもった発表となり、予定していた発表時間を大幅にオーバーしました。

第3部では大会出席者やご来賓および友好産別組織である航空連合大阪の方々と交えて懇親会を開催し、アットホームな一時を過ごすことができました。

最後に確認された運動方針の目玉をご紹介しますが、端的に言えばこれまでの執行体制を大幅に見直し、より議

論ができる体制に変革したことです。これまで40数名いた執行部を22名（会計監査含む）とし、一人ひとりがその役割と責任を明確にするのと同時に、運動方針に基づいた取り組みを展開していくことにあります。またさらには地域に密着した会議体制や業種別委員会と専門部の役割の明確化、加盟組合の組合員が参加しやすい活動とサービス機能の強化および、組織拡大を目指す体制の充実を運動の機軸に据えて取り組んでいきます。いづれにしても、2年前に新生サービス連合関西地連としてスタートした組織が、一定の融和を果たし、さらなる一歩を踏み出すことを申し添えて大会報告とします。



寺田 関西地連議長



角本 関西地連事務局長

【角本和久】

関西地連役員（四役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	寺田 憲一郎	全都ホテル
副議長	尾崎 英和 横田 典之 小仲 一彦 小畑 博正	全日空ゲートタワーホテル大阪 ジェイティービー 第一阪急ホテルズ 日本旅行
事務局長	角本 和久	専従/近畿日本ツーリスト
副事務局長	森岡 成人 川方 裕英	ロイヤルホテル 阪急交通社

## 地域・業種別展開のさらなる強化

～中部地連大会 2003. 8. 28 名古屋観光ホテル～

8/28（木）名古屋観光ホテルにおいて、中部地連の第3回定期大会が開催されました。

居林（名鉄観光サービス）・山田（都ホテルズ東海）両代議員が議長に選出され議事進行中、「2001～2002年度の運動総括」と「2003～2004年度運動方針」を確認しました。

今期は運動のありかたとして、「運動の原点」「運動の理念」「運動方針」を明らかにしました。

運動の原点は「組合員」「構成組織」「産別」と3つのレベルの目線での活動を心がけるとともに、労使関係だけでなく、お客様を視野に入れた運動理念を掲げました。具体的な進め方としてシンプルで

効率の良い運営を意識し、地域協議会の定例開催で地域の活動拠点を増やして未加盟労組との



江田 中部地連議長



久米 中部地連事務局長

交流を積極的に図っていくことを再確認いたしました。

また新規加盟組織である「賢島宝生苑労働組合」の竹内委員長の挨拶もあり、着実に中部地連の運動が定着・拡大をしていると感じる大会でもありました。

来賓には、大会に連合東海ブロック堀下会長、赤松衆議院議員（民主党）がお越しになり、懇親会には、連合愛知荒木局長・加藤局長、ホテル協会中部支部倉井事務局長が駆けつけて下さいました。本部からは宮坂副会長・数村事務局長が参加され、

中部地連役員（三役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	江田 博秋	都ホテルズ東海
副議長	早瀬 功治 水谷 公治 中山 譲 山村 茂雄 望月 雄作 森 啓記 森 賢二郎	ホテルグランコート名古屋 名古屋ターミナルホテル 名古屋観光ホテル ヤマハリゾート トヨタツーリスト 近畿日本ツーリスト 日本旅行
事務局長	久米 啓治	専従/名鉄観光サービス



それぞれご挨拶を頂戴しました。

今年は改選期にあたり32名の役員が選出され、新たな執行体制がスタートしました。

四役を始め大幅に今期はメンバーが入れ替わりましたが、議長に就任された江田議長は冒頭の挨拶で前任の方々が築き上げ

た中部地連を継承しつつ、今後もチームワークの良さで今まで以上の活動をと力強い挨拶をされました。そのチームワークの良さは大会終了後に行われた懇親会で篠原前議長、森前副議長、河野前事務局長の胴上げという形で現れ、新しい中部地連の活動がスタートしました。【久米啓治】

## ハンディはみんなでカバー

～中四国地連大会 2003. 8. 29 リーガロイヤルホテル広島～

8月29日、リーガロイヤルホテル広島におきまして、第3回定期大会が開催されました。

大会議長へは、沖元代議員（広島全日空ホテル労組）、木村代議員（近畿日本ツーリスト労組）の両氏が選出され議事が開始されました。来賓挨拶は、本部より秋山副会長、数村事務局長よりいただきました。

議事として、「2001年度～2002年度の運動総括」・「2003年度～2004年度運動方針」・「2002年度決算報告及び会計監査報告」・「2003年度予算」・「中四国地連規約改訂」の審議を行いました。

主な運動方針として、

### 1. 組織拡大への取り組み

昨年度は関西地連や地方連合の協力の下、「エアトラベルユニオン（労組合併）」「鴨川グランドホテル西長門リゾート支部」「ルネッサンスリゾートナルト労組」「作東バレンタインホテルユニオン」が地連加盟されました。今後も本部・他地連と連携を取りつつ地方連合と協力して組織拡大を取り組みます。

### 2. 地域政策・制度課題への取り組み

連合広島、中国交運労協、広島県交運労協へ積極に参加し、サービス・ツーリズム産業に働く我々の声を政策制度

要求して行きます。

続いて役員選挙において、濱崎議長を中心とした新執行部が承認されました。今期は、事務局長不在というハンディを背負う事になりますが、加盟組合と全役員で協力し、執行活動を担っていくことを確認し閉会となりました。

最後に今期で退任された水田副議長、藤本事務局長、小田・白兼・中原・山中・斉藤・村田執行委員、西原会計監査の方々大変ご苦勞様でした。【山田 勇】



濱崎 中四国地連議長

### 中四国地連役員（四役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	濱崎 眞白	リーガロイヤルホテル広島
副議長	吉崎 晴彦	広島全日空ホテル
	米本 和男	リーガロイヤルホテル広島
	山田 勇	日本旅行
	横田 典之	ジェイティービー
副事務局長	横山 大介	広島全日空ホテル
	風井 正純	リーガロイヤルホテル広島
	山崎 昌彦	近畿日本ツーリスト
	田中 和広	東急観光

## 具体的な組織活動の実施に向けて

～関東地連大会 2003. 8. 29 ホテルラングウッド～

8月29日（金）、日暮里の「ホテルラングウッド」において関東地連第3回定期大会が開催されました。大会代議員数178名・執行部28名という大所帯ながら、定刻の14時には大会成立要件の出席が確認でき、京王観光労組の角屋敷資格審査委員長長の報告により大会が成立しました。大会議長には藤田観光労組の高橋代議員とジェイティービー労組の益山代議員が選出され、大会のスムーズな運営に努めていただきました。

「2001～2002年度運動のまとめ」については、事務局長からの総括的な報告に続き、教育宣伝・組織・産業政策・女性の各専門部部長とホテル・レジャー、観光・航空貨物の各委員会事務局長からの活動報告をおこない、2年間の活動を通じて新しい産別運動の定着と地連機能の充実にむけて取り組んできた成果と今後に向けての課題について審議しました。また、この2年

間の活動総括を受けて組織体制を若干変更するにあたっての「組織方針」の変更案について審議しました。

「2003～2004年度運動方針」については、『基本は加盟組合』であるという考え方を中心に沿って、①加盟組合にわかりやすい組織、②加盟組合の負担を最低限に、③必要な情報は相互に漏れなく共有出来る、地連体制を確立するために、組織対策の強化・組織拡大への対応・サービス機能の充実という3つの組織活動強化を実施していくことが確認されました。本来は地連の組織の安定的運営とホテル・レジャー、観光・航空貨物両委員会の融合を優先的に進めるべきではありますが、まずは、置かれている厳しい経済・経営環境下における組織対応力強化をおこなっていくために、業種別委員会の設置を継続し、当面の2年間は両委員会を中心とした活動を基本とすることとしまし

た。その上で、地連の決定機関としての執行委員会、業種をまたがる機能としての専門部の設置、およびすべての地連活動をサポートする機能としての事務局機能の強化をおこなっていくことを確認しました。

活動の中心を“基盤づくりのための交流重視”をおこないながらも、“具体的な組織活動の実施”へと進めていくために、両業種別委員会において組織対応窓口の明確化を図るとともに、地域の加盟組合への対応をどうおこなっていくのかについて議論されました。また、専門部活動については、組織部・産業政策部の2部体制に変更する中で、組織部の中に組織拡大、教育・女性、情宣、レクリエーションの各チームを設置し、具体的な活動の実施にむけてのスタートをきりました。

続いて、「2002年度決算報告ならびに会計監査報告」「2003年度予算」についても確認をし、全議案について採択し議事は無事に終了しました。

引き続き、「2003～2004年度役員選挙」が実施され、東京ヒルト

ンインターナショナル労組の天下選挙管理委員長より総勢16名の新執行部メンバーの名前が読み上げられ、満場一致で承認され新体制がスタートしました。



吉田 関東地連議長



大久保 関東地連事務局長

【大久保英男】

関東地連役員（四役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	吉田 博司	帝国ホテル
副議長	林 達夫	ホテルニューグランド
	井土 純	都ホテル東京
	水迫 力	ジェイティービー
	伊藤 剛	近畿日本ツーリスト
事務局長	大久保英男	専従/ジェイティービー
副事務局長	本吉 昇	東京ベイヒルトン
	山田 健一	東武トラベル

## 3つの新組合結成を目指す

～北海道地連大会 2003. 8. 30 センチュリーロイヤルホテル～

北海道地連第3回定期大会は、8月30日（土）14時より、札幌の「センチュリーロイヤルホテル」で開催しました。大会は役員・代議員・傍聴者など43名が出席し、札幌国際観光労組書記長の沼田氏を議長に選出して議事に入りました。

冒頭の挨拶で佐藤昌宏議長は、「サービス連合としての平和運動への取り組みを提唱するとともに、観光産業のみならず、北海道をいかに活性化させるかがサービス業の地位・生活の向上につながる。」とあいさつし、これからの活発な議論を訴えました。

続いて本部の秋山副会長があいさつに立ち、「10万人構想の着実な進展」と「産業機能の整備と運動の定着」を基本認識に、4千名の組織拡大を提唱しました。そのほか来賓として、連合北海道の峯後事務局長、北海道労働福祉協議会の古川副議長からそれぞれ祝辞をいただきました。

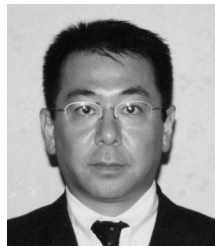
その後議事に入り、佐藤公一事務局長から「02年度総括」、「03年～04年度運動方針の提案」、「02年度会計決算報告」の提案がありました。運動の基本方針としては、①組織拡大と産別機能の強化、②変革期の中の産別運動、③財政の健全化、の三点を重点課題とし、具体的には、「今期最低3組合の結成」など組織拡大、「障害者にやさしい北海道の旅」の復活、学習活動や平和運動への取り組みを最重要課題とすることを掲げました。その後の質疑では、ジェイティービー労組の中谷代議員より、「修学旅行の入札制度」が産業として好結果を生まない現状を訴え、政策論議を求める発言がありました。それに対して佐藤議長が、「労組として平等に意見を言える土壌をサービス連合、更には上部団体を通じて作っていきたい」と答弁しています。また、東急観光労組の星代議員からの、「組織拡大の見通し」についての発言には、佐藤事務局長が「具体的公表は差

し控えるが積極的に行いたい」と答弁し、組織拡大に対しての強い決意表明がありました。大会はこの後、「03年度予算」、「2003～2004運動方針」の提案が採択され終了しました。

大会後は、引き続き同会場にて、横路孝弘衆議院議員による記念講演を行いました。横路代議士は、「わが国が、決して繰り返してはならないはずの戦争に、逆に近づきつつある風潮を危惧している。国連平和憲章の観点からも平和について真剣に考えるべき。」と講演され、「平和」というものについて、改めて考えさせられる貴重な時間となりました。

講演に引き続き、加藤地連執行委員（ジェイティービー労組）の司会で始まった懇親会では、新旧役員が紹介され、冒頭、林山智弘新議長から力強い挨拶がありました。その後退任される佐藤昌宏議長、島 副事務局長、山本特別執行委員らが壇上で自らの活動を振り返り挨拶され、出席者からのねぎらいの拍手がこだましました。

【三浦紀一】



村山 北海道地連議長



佐藤 北海道地連事務局長

北海道地連役員（四役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	林山 智弘	ジェイティービー
副議長	町田 幸成	札幌全日空ホテル
	横田憲一郎	札幌国際観光
	横山 裕司	日本旅行北海道
事務局長	佐藤 公一	専従
副事務局長	矢野 英則	名鉄観光サービス
	沼田 修	札幌国際観光



## 集中と選択の中で新たな活動

～東北地連大会 2003. 8. 31 ホテル JAL シティ仙台～

東北地連の第3回定期大会は、8月31日（日）仙台市内の『ホテルJALシティ仙台』において開催されました。大会は、大垣副議長の挨拶で開会し、岩泉資格審査委員長より資格審査の結果の報告があり、代議員定数28名中25名（委任状含む）参加により大会の成立が宣言されました。

大会の議事として、冒頭、藤井議長代行が「2001～2002年度総括」に向けての基調の提案と出身組合である「アキタニューグランドホテル」の民事再生法申請からの報告がなされました。その後、本部より笠原会長が「第3回サービス連合定期大会」の報告も兼ねて挨拶をいただきました。

その後、屋葺事務局長より「2001～2002年度の運動総括」「2002年度決算報告」「2003～2004年度の運動方針」「2003年度組織方針」の各項目について具体的な提案があり、代議員の審議を経て提案どおり可決されました。具体的内容を要約すると、2年間の運動総括においては、組織拡大活動としては、新規加盟として「鶴が池荘」・「秋田ワシントンホテル」・「仙台ワシントンホテル」の3組合が新たな仲間として加わることが出来、東北地連としての活動にも参画していただくことが出来ました。組織問題としては、「グリーンピア二本松」の閉鎖問題、「アキタニューグランドホテル」の民事再生法の申請から施設閉鎖に向けた取り組みの報告を中心におこないました。また東北地連の組織の見直しについて、本部の会議および地連執行委員会の議論を紹介することにより、来期以降の活動について今

までどおりの活動は無理で、集中と選択の中での活動が必要という事を総括としました。

また2003年度の運動方針としては、引き続き未組織対策や加盟組合の組合活動のフォローする等の組織対策を中心とした取り組みをおこなう等6項目の個別運動課題の方針について確認されました。

2003年度以降の組織方針としては、基本的に業種別委員会を中心とした活動に推移していき、執行委員会は地連運営の中心とした本部会議体の報告、各業種別委員会活動の機関として年6回程度の開催とすることについて確認されました。

大会としては、「2003年度地連役員選挙」「新旧役員挨拶」を行い、最後に佐藤新執行委員が閉会挨拶を行い約2時間30分で終了いたしました。【屋葺克也】



原田 東北地連議長



屋葺 東北地連事務局長

### 東北地連役員（二役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	原田 徹	サンルーラル大潟
事務局長	屋葺 克也	東急観光

## 専門部の機能を集約

～九州地連大会 2003. 9. 2 博多都ホテル～

サービス連合九州地連は第3回定期地連大会を、9月2日（火）に福岡市の博多都ホテルにおいて79名（執行委員27名・代議員35名・女性特別代議員10名、傍聴者7名）の出席のもと開催しました。

大会議長には中島代議員（ジェイティービー労組）・吉田代議員（リーガロイヤルホテル小倉労組）の2名を選出し、来賓はサービス連合本部より、秋山副会長、数村事務局長、連合福岡・中村事務局長にご挨拶をいただき議事に入りました。

まず冒頭に、地連を代表して岡委員長の挨拶に続き、第1号議案「2001年～2002年度運動のまとめ」として、2年間の活動の総括を行い、その後に第2号議案「2003年～2004年度運動方針」、第3号議案「2002年度決算報告および会計監査報告」、第4号議案「2003年度一般会計予算」をそれぞれ提案し、全会一致で承認されました。

主要な方針として、1点目には、執行委員会・四役会・専門部、委員会を中心とし、執行体制の強化と地域産別機能の確立をはかるため、執行委員会は原則年10回開催とし、四役会議は執行課題及び執行委員会との関連で適宜開催としました。また

業種別（観光・ホテル）委員会の組織機能の強化は、従来の単組間の情報交換と問題解決にむけた、意見交換や相互アドバイス及び産業個別の課題に関する相互議論に加え「組織・経営問題」への対応を担える組織として、体制確立と対応力強化（業種課題・単組支援・組織対策）を図ります。このため、両業種委員会の組織体制及び役割を見直していきます。

2点目として、最重点課題である組織拡大の取り組みは、地連オルガナイザーグループ（地連四役及び組織部と単組選出のオルガナイザー）が中心となってターゲットの設定をおこない、集中的対応をはかっていくこととしました。また、情報収集策としては、「九州一斉なんでも相談ダイヤル」に変わって、ネットによる相談の充実化をはかり対応していきます。

3点目として、業種にまたがる課題に対応する専門部・専門委員会について、効率的に活動していくため、賃金・労働条件及び生活課題に関する労働生活部の機能を、産業政策部に機能集約をはかることとしました。このこととともない、産業政策部を「政策部」と名称を変更し、産業政策課題の取り組みと、労働・生活課題に関わる政策・制度要求の取り組みは担当を政

サービス連合

策部へ一本化をはかり、本部、局との連携をさらに強め進めていきます。地連課題についても見直しをはかり、各専門部が中心となり積極的な活動に取り組むこととします。

4点目として男女平等社会の実現と女性参画推進運動については、地連女性執行委員と単組選出の担当者による地連女性委員会を中心に、委員会が中心となり各県での交流を含めネットワークの拡大をはかっています。



岡 九州地連議長



信安 九州地連事務局長

以上、4点を基本としてその他の運動課題とあわせ取り組んでいくことを確認しました。  
【信安豊廣】

九州地連役員体制（四役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	岡 之治	日本旅行
副議長	松尾 高宏	ジェイティービー
	秋本 充生	近畿日本ツーリスト
	本村 昌巳	東急観光
	森 栄司	杉の井ホテル
	山田 通明	博多全日空法テール
	大田 治信	リーガロイヤルホテル小倉
事務局長	信安 豊廣	博多都ホテル
副事務局長	深川 武	博多都ホテル

激動の2年間を振り返る

～沖縄地連大会 2003. 9. 11 沖縄都ホテル～

サービス連合 沖縄地連第3回定期大会が、2003年9月11日（木）沖縄都ホテルにて開催されました。当日は沖縄地方に台風14号が接近し、石垣からの出席者が5名予定の所1名のみ参加となるなど、2年前、台風接近のため東京からの来賓の方が羽田空港で足止めとなってしまっ来られないという結成大会のアクシデントを思い起こさせる天候でした。

当日は、結成以来2年間の活動の振り返りと、次年度新体制に基づく運動・活動方針の協議を行い約2時間に亘って白熱した審議となりました。

思い起こせば、最初の1年は偶然にも沖縄地連結成のその日に起こった「9. 11米国同時多発テロ」に対する沖縄観光の風評被害払拭に翻弄され、まるで、そのために沖縄地連を立ち上げたかのような日々でした。

2年目は、いい意味でのその反動か、諸要因による海外からのシフト組と本土での冷夏の影響、新水族館のオープン、沖縄初のモノレールの開業等々からか沖縄観光はここ数年来久しぶりの好調を呈しています、その好調さを年末一時金交渉、来年度の春闘にどう結びつけていくかを沖縄地連としても十分協議して行かなければなりません。

次年度方針としては、結成2年で実行できなかった、地連主催のレクリエーション活動や地連労使協議体制の可能性を目指し新体制の基で諸活動を推進していく考えです。合わせて、沖縄でのリーディング産業といわれる観光業の一翼を担う産別組織として航空連合加盟の組織とともに連合沖縄を通じて観光・交通行政施策及び平和産業と言われる立場から日米地位協定の確立、反戦平和推進行動にも積極的に取り組んでいくことを大会にて確認しました。【奥原武志】



上原 沖縄地連議長



福田 沖縄地連事務局長

沖縄地連役員体制（四役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	上原 正人	沖縄観光開発
副議長	南風盛順史	石垣全日空リゾート
	知名 健一	沖縄万座ビーチホテル
事務局長	福田 涼二	全日空ホテルズ沖縄
副事務局長	新川 雅幸	ラグナガーデンホテル

高橋特別中執（連合本部派遣）連合本部副事務局長に選出される



高橋特別中央執行委員

サービス連合より特別中央執行委員として選出され、日本労働組合総連合会（略称：連合）の本部に派遣されている高橋均氏（前 組織拡大センター総合局長）が、10月2～3日に開催された連合の大会において、副事務局長に選出されました。高橋氏は、読売旅行労組から、サービス連合の前進である観光労連の委員長等を経て、1996年より特別中執として連合本部に派遣され

ました。連合本部の副事務局長をサービス連合出身者が担うことは、もちろん初めての事です。今後のさらなる活躍が期待されます。

この他、連合の中央執行委員についても笠原会長に加えて、連合女性代表執行委員として片岡中執が今回初めて選出されました。サービス連合からは、計3名のメンバーが連合本部執行部の一員として加わる事になります。さらに連合の地方組織である連合東京にも傳田特別中央執行委員が、副事務局長として引き続き活動に携わる事になりました。